

2026年3月期 第1四半期

決算補足説明資料

***Nice* ナイス株式会社**

(証券コード：8089)

この説明資料には将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。
将来予測にはリスクや不確定な要因などが含まれており、実際の成果や業績は予想と異なる可能性があります。

おかげさまで創立75周年 ナイスグループのあゆみ



建築資材事業



1950

木材卸売業として創業



1959

建築資材全般の取り扱いを開始



1962

輸入木材の取り扱いを開始



2000

木材プレカット事業を開始



2011

エネルギー関連商品の取り扱いを開始



2014

国産木材製材事業を開始



2021

国産の原木の供給を開始



住宅事業



1971

住宅分譲事業を開始



1974

マンション管理事業を開始



1977

不動産仲介事業を開始



1988

不動産賃貸管理事業を開始



2009

中古住宅買取再販事業を開始



その他の事業



1984

建築資材向け経営管理システムを開発



1986

物流事業を開始



1992

建築工事業を開始



1993

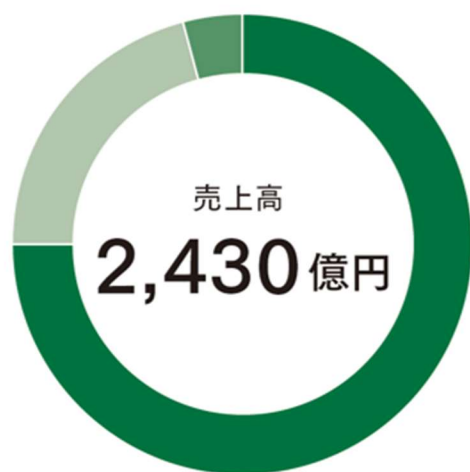
ケーブルテレビ局を開局



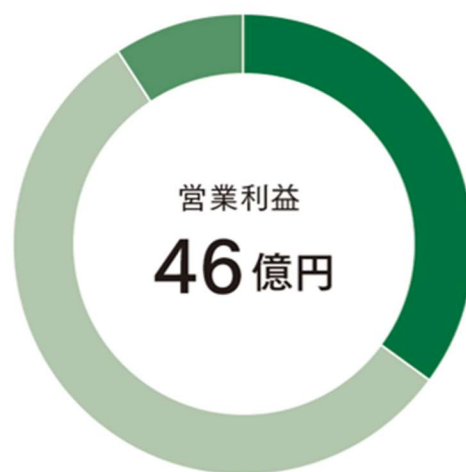
ナイスグループの業績と拠点展開



2025年3月期経営成績



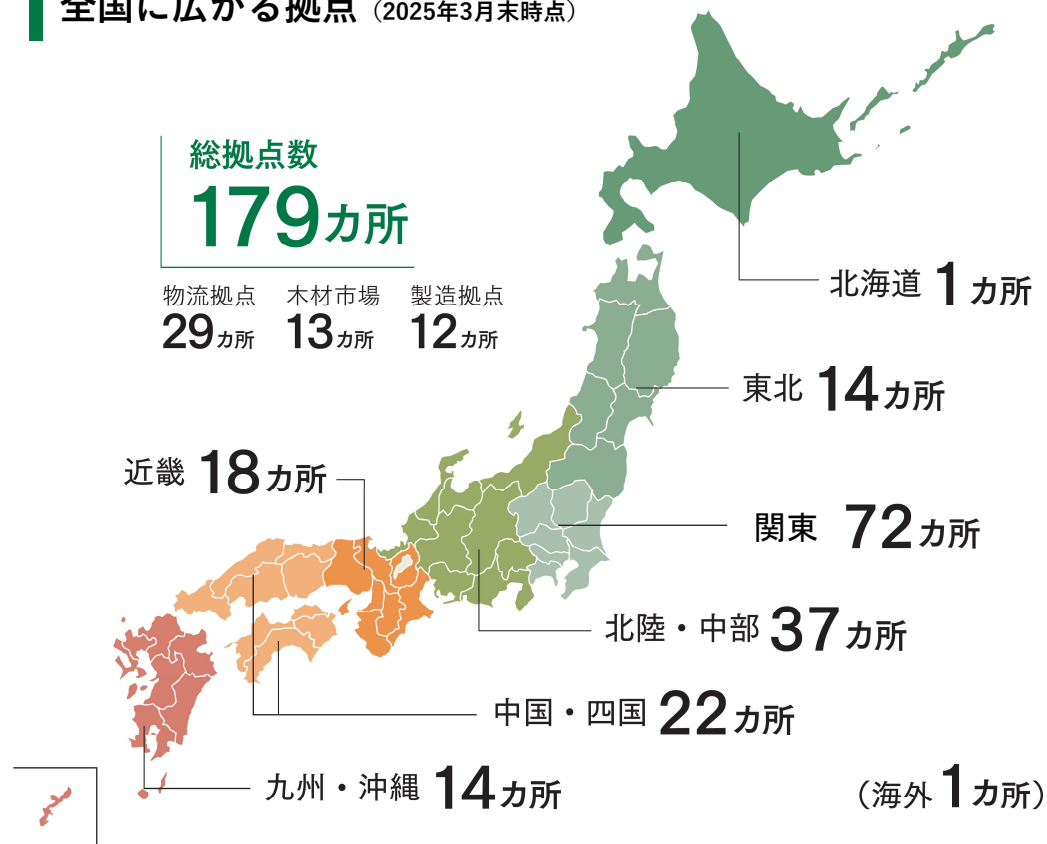
■ 建築資材セグメント	1,830億円
■ 住宅セグメント	507億円
■ その他	91億円



■ 建築資材セグメント	22億円
■ 住宅セグメント	35億円
■ その他	6億円

※数値は億円未満を切り捨てて表示しているため、合計が一致しない場合があります。
※セグメント別の営業利益は、連結消去及び全社調整前の数値です。

全国に広がる拠点 (2025年3月末時点)



目次

1. 2026年3月期 第1四半期 連結業績
2. 2026年3月期 連結業績予想

1. 2026年3月期 第1四半期 連結業績

連結業績 ハイライト



建築資材事業・住宅事業ともに増収増益

売上高は前年同期比15.2%増の595億36百万円、営業利益は前年同期比283.7%増の4億48百万円

建築資材事業の建材・住宅設備機器が伸長

主に前第3四半期より連結子会社化した株式会社セレックスが増収増益に寄与

住宅事業の新築及び中古買取再販マンション等が堅調に推移

新築及び中古買取再販マンションの売上計上戸数が前年同期の39戸から54戸に38.5%増加

連結業績 概要



(単位：百万円)	2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	増減額	増減率 (%)
売上高	51,683	59,536	+7,853	+15.2
営業利益	116	448	+331	+283.7
経常利益	74	405	+331	+448.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2	303	+300	-
1株当たり四半期純利益	0円25銭	25円58銭	+25円33銭	-
EBITDA ※	543	1,100	+556	+102.3

※ EBITDA：営業利益＋減価償却費＋のれん償却額

売上高

- ・ 建築資材事業のサッシ・エクステリア等の販売が増加
- ・ 住宅事業の新築及び中古買取再販マンションの売上計上戸数が増加したほか、一棟収益物件の売上計上が寄与

営業利益

- ・ のれん償却等により販管費が増加したが、増収に伴う売上総利益の増加により増益

経常利益

- ・ 受取配当金と支払利息が増加、営業外収支は前年同期比でほぼ横ばい

親会社株主に帰属する 四半期純利益

- ・ 特別利益と法人税等の増加により、前年同期比の増加額は営業利益や経常利益とほぼ同水準

セグメント別売上高



セグメント別売上高

(単位：百万円)	2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	増減額	増減率 (%)
建築資材	41,273	47,265	+5,991	+14.5
住宅	8,370	10,123	+1,752	+20.9
その他	2,038	2,148	+109	+5.4
合計	51,683	59,536	+7,853	+15.2

建築資材

- ・ サッシ・エクステリア等の販売が増加
- ・ 建材・住宅設備機器の新規取引先が増加

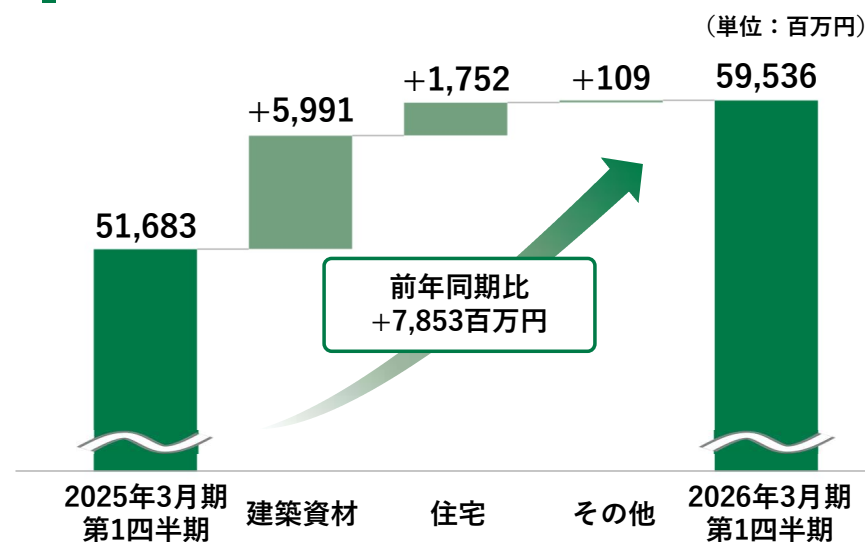
住宅

- ・ 新築及び中古買取再販マンションの売上計上戸数が増加
- ・ マンション管理事業が堅調に推移したことに加え、一棟収益物件の売上計上が寄与

その他

- ・ 建築工事業とケーブルテレビ事業が堅調に推移

セグメント別売上高 増減要因 (前年同期比)



商品別売上高



(単位：百万円)		2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	増減額	増減率 (%)
建築資材	木材	13,881	13,238	△643	△4.6
	建材・住宅設備機器	27,323	33,962	+6,639	+24.3
	木材市場	69	65	△4	△6.3
	合計	41,273	47,265	+5,991	+14.5
住宅	マンション	1,865	2,610	+745	+39.9
	一戸建住宅	1,947	1,556	△391	△20.1
	管理その他	4,556	5,956	+1,399	+30.7
	合計	8,370	10,123	+1,752	+20.9

- ・国産材の売上が増加した一方、輸入材の売上が減少
- ・サッシ・エクステリア等の販売が増加
- ・新規取引先が増加
- ・新築及び中古買取再販の売上計上戸数が増加
- ・売上計上戸数が減少
- ・マンション管理事業が堅調に推移したことに加え、一棟収益物件の売上計上が寄与

セグメント別営業利益



セグメント別営業利益

(単位：百万円)	2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	増減額	増減率 (%)
建築資材	380	540	+160	+42.2
住宅	53	341	+287	+537.0
その他	220	104	△116	△52.7
計	654	986	+331	+50.7
消去又は全社	△537	△537	△0	-
合計	116	448	+331	+283.7

建築資材

- ・増収により、支払運賃の増加やのれん償却を吸収して増益

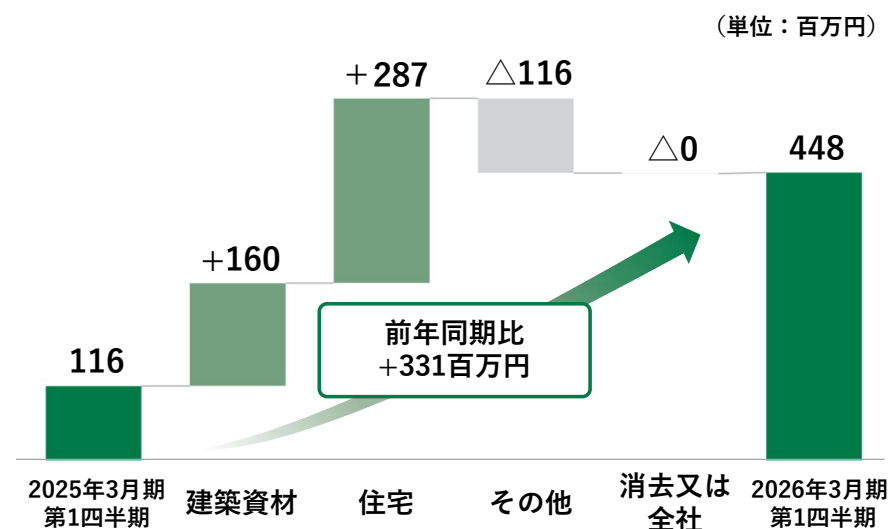
住宅

- ・新築及び中古買取再販マンションの売上計上戸数が増加
- ・マンション管理事業が堅調に推移したほか、一棟収益物件の売上計上が寄与

その他

- ・ケーブルテレビ事業の販売促進費増加等により減益

セグメント別営業利益 増減要因 (前年同期比)

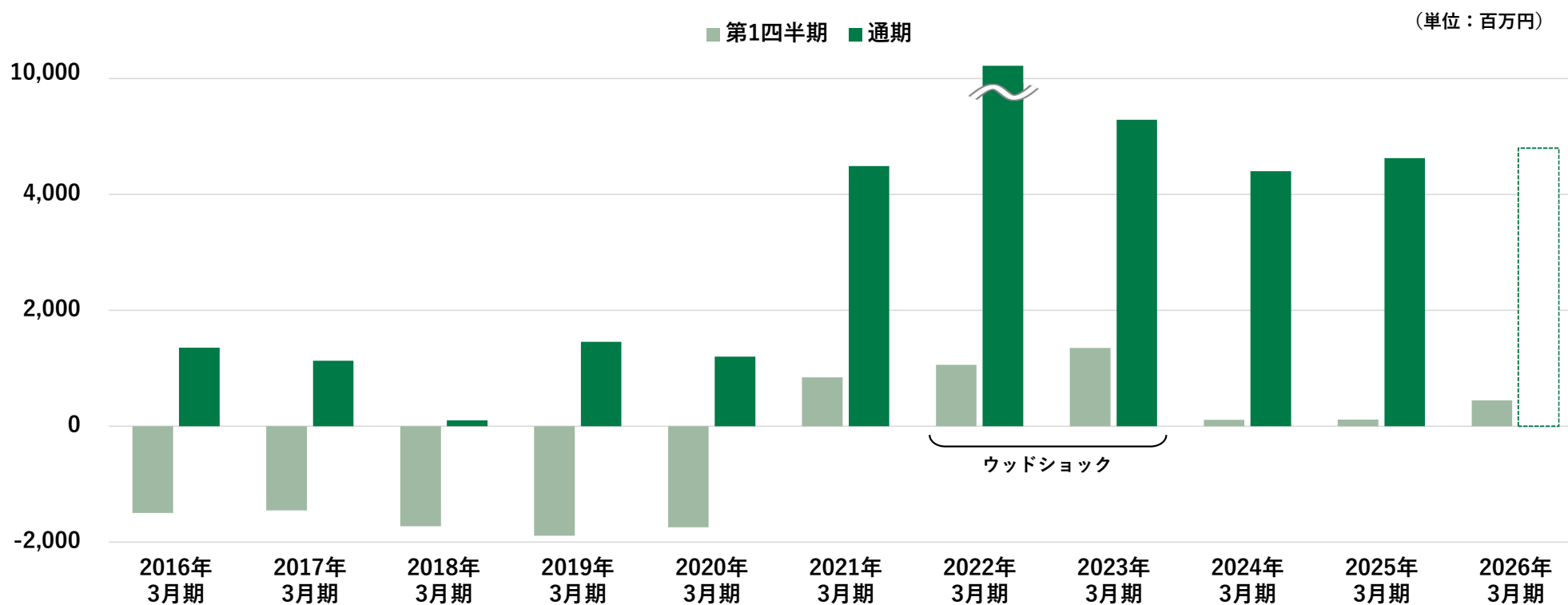


営業利益の推移



営業利益の推移 10年トレンド

下期偏重の収益構造から第1四半期は赤字の傾向であったが、徐々に利益の平準化が図られている



住宅セグメント 契約戸数・売上計上戸数



2025年3月期 第1四半期

(単位：戸)	① 契約済売上 未計上戸数 前連結会計年度末	② 契約戸数	③ 売上計上戸数	①＋②－③ 契約済売上 未計上戸数 第1四半期 連結会計期間末
マンション	147	79	39	187
（新築）	(134)	(52)	(9)	(177)
（中古買取再販）	(13)	(27)	(30)	(10)
一戸建住宅	123	61	35	149
合計	270	140	74	336

2026年3月期 第1四半期

	④ 契約済売上 未計上戸数 前連結会計年度末	⑤ 契約戸数	⑥ 売上計上戸数	④＋⑤－⑥ 契約済売上 未計上戸数 第1四半期 連結会計期間末
マンション	151	76	54	173
（新築）	(140)	(33)	(20)	(153)
（中古買取再販）	(11)	(43)	(34)	(20)
一戸建住宅	122	59	28	153
合計	273	135	82	326

- マンション
- ・ 中古買取再販マンションの契約戸数が増加
 - ・ 新築及び中古買取再販マンションの売上計上戸数が増加

- 一戸建住宅
- ・ 契約戸数及び売上計上戸数が前年同期比で減少



住宅セグメント 販売用不動産の内訳



(単位：百万円)		2025年3月期 期末残高	2026年3月期 第1四半期末残高	増減額	
住宅事業	完成販売用不動産	5,823	4,458	△1,364	・ 一棟収益物件及び新築マンションの引渡しにより減少
	仕掛販売用不動産	9,013	13,129	+4,116	・ マンションの建築工事進行と中古買取再販マンションの仕入の増加
	開発用不動産	7,778	9,193	+1,414	・ 新築分譲用地の増加
	合計	22,615	26,781	+4,165	
うち中古買取再販	完成販売用不動産	931	1,288	+356	
	仕掛販売用不動産	2,729	3,298	+569	
	合計	3,660	4,587	+926	・ 事業拡大による仕入の増加

連結貸借対照表 概要



(単位：百万円)		2025年3月期 期末残高	2026年3月期 第1四半期末残高	増減額	
資産	現金及び預金	25,567	22,174	△3,392	・ 仕入債務の支払、在庫の増加等により減少
	売上債権・契約資産	42,094	41,274	△819	
	商品	7,785	8,951	+1,166	・ 木材仕入が増加
	販売用不動産・未成工事支出金	23,239	27,731	+4,491	・ 新築分譲用地の取得及びマンションの建築工事 進行と中古買取再販マンションの仕入の増加
	有形固定資産	46,253	46,680	+426	
	資産合計	171,037	170,319	△717	
負債・純資産	仕入債務	44,572	41,218	△3,354	・ マンション工事費の決済等により減少
	借入金	41,903	46,405	+4,502	・ 販売用不動産の取得等に伴い増加
	負債合計	109,376	108,821	△554	
	純資産合計	61,661	61,498	△163	
	負債純資産合計	171,037	170,319	△717	
自己資本比率		32.9%	32.9%	-	

2. 2026年3月期 連結業績予想

2026年3月期 連結業績予想（概要）



（単位：百万円）	2025年3月期 通期 （実績）	2026年3月期 通期 （予想）	2026年3月期 第1四半期 （実績）	進捗率（％）
売上高	243,054	260,000	59,536	22.9
（建築資材セグメント）	（183,082）	（194,000）	（47,265）	（24.4）
（住宅セグメント）	（50,796）	（56,000）	（10,123）	（18.1）
（その他）	（9,174）	（10,000）	（2,148）	（21.5）
営業利益	4,628	4,800	448	9.3
経常利益	4,305	4,400	405	9.2
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	2,872	3,000	303	10.1
EBITDA ※	6,680	7,000	1,100	15.7

※ EBITDA：営業利益＋減価償却費＋のれん償却額

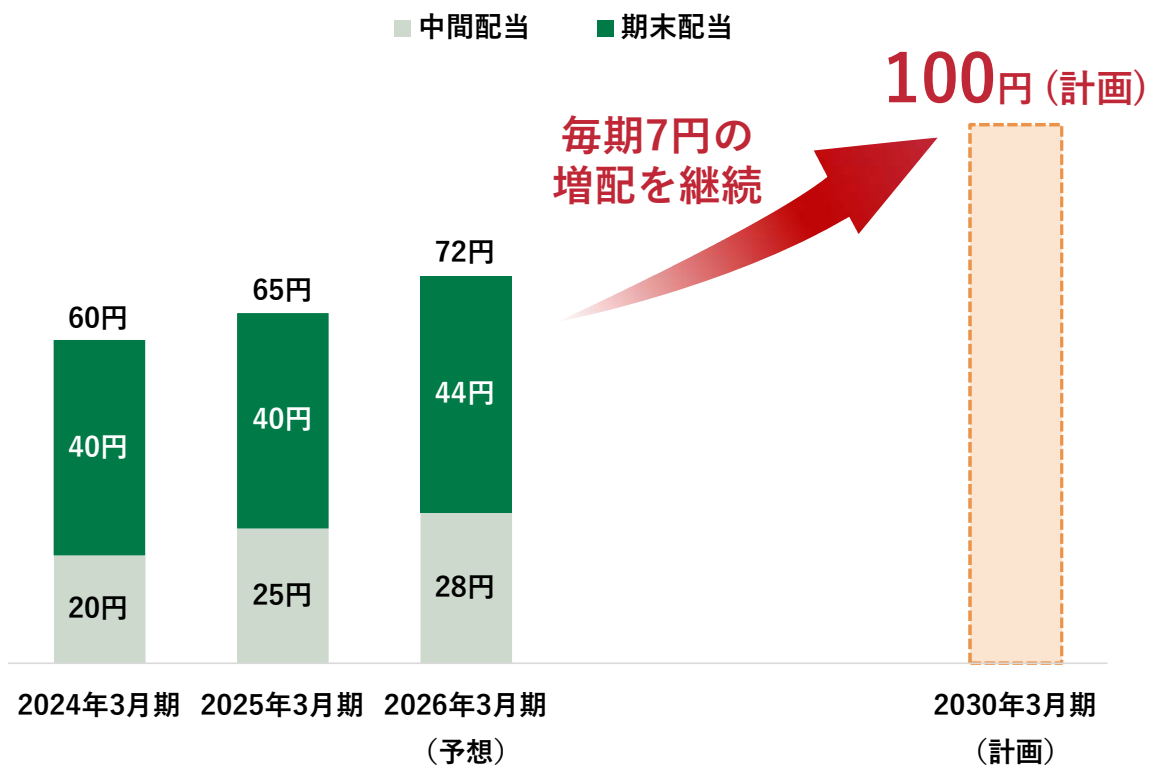
- ・ 2026年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点において2025年5月14日に公表した予想数値から変更ありません。
- ・ 売上高は通期予想の2割強の進捗であり、概ね順調に推移しております。
- ・ 利益の各項目についても、計画どおり推移しております。

株主還元



中長期的な持続的成長を通じた累進配当を導入

2030年3月期まで毎期7円増配していく計画



株主優待制度

年に2回、株主優待を実施いたします。
保有株式数及び継続保有期間に応じて、以下のとおり緑の募金への寄付金付き「おもいやり」QUOカードを贈呈いたします。

保有株式数	継続保有期間	
	3年未満 ※	3年以上 ※
100株以上 300株未満	QUOカード 500円	QUOカード 1,000円
300株以上 500株未満	QUOカード 1,000円	QUOカード 2,000円
500株以上	QUOカード 1,500円	QUOカード 3,000円

※「継続保有期間」は、基準日（毎年3月末日及び9月末日）において、同一の株主番号で各区分の最小株式数（100株、300株及び500株）を下回ることなく株主名簿に継続して記載された期間とします。



※イメージ画像

NiCE

木を知り、 暮らしを支える。

木のそばに人がいて、
休むという字になるように。

木と人の安らぎは、切り離せないのかもしれない。
だからNICEはずっと木と人の間にいる。

まっすぐであること。

生命を守りぬく強さを持つこと。

それ以上の優しさで包むこと。

建築資材会社として木に学んできたそれらの思いを、
住宅会社として住まいづくりに活かしながら、
安らぎのある暮らしを支えてきた。

だから、暮らす人の「ああ、ほっとする」と笑う顔が、
何よりもうれしい。

NICEは、これからも、木を育て、木と育っていく。
この国の暮らしを支える大樹になることを目指して。
その木の下で、木漏れ日のなかで、
人々が人生を楽しむ姿を思い描きながら。



NICE ナイス株式会社